



2024 年 11 月 25 日に開催された

2024 年度第 6 回理事会(臨時)の概要をお知らせします。

<決議事項>

●利益相反取引について

- ・11月19日(火)に行われたコンプライアンス委員会にて川合会長の利益相反確認を行ったところ8月に締結した業務委託契約の内容を理事会に報告・決裁しておくべきであると指摘があった。
- ・現在報告済の利益相反取引は事務所として座席を(株)ケイ・ブロスに貸し出している件とメディア出演料の配分率に関する件の覚書締結に関する事。未報告となっているのが、業務委託契約について。
- ・今までは会長のスケジュール調整等を実施してもらう為に(株)ケイ・ブロスにいた社員をJVAが直接雇用していた。ただ、(株)ケイ・ブロスの業務とJVAの業務の両方を担っていることから、稼働時間内での担当業務の線引きが難しくなりこの件を顧問社労士に相談した。その結果、企業対企業の業務委託契約をした方が対外的にもクリアになるとの助言をいただいた為、契約形態の変更を実施した。

【決議事項】

提案の通り、利益相反取引について承認された。

【補足事項】

理事の利益相反となるため、事前に理事会で承認すべき。次回からは事前に理事会にかけるよう徹底して欲しいとの提言があった。

●理事推薦の会長候補者決定

- ・2025年の会長候補者推薦依頼を行ったところ、選定委員会からの推薦はなく、理事より会長候補者の推薦があった。

【決議事項】

提案の通り、理事推薦の会長候補者について承認された。

この後は選定委員会での選定審議に入る。

【補足事項】

会長選定スケジュール

- ① 11月29日～ 会長候補者選定委員会／選定審議
- ② 1月24日 定例理事会／評議員会上程のための候補者再承認
- ③ 1月27日 評議員懇談会／選定経緯についての説明会
- ④ 2月7日 評議員会／次期会長内定者選任
- ⑤ 6月13日 定時評議員会／次期会長内定者以外の理事選任



⑥ 6月16日 臨時理事会／新体制での新会長正式決定

●**技術委員会立ち上げについて（方針）**

- ・組織全体の見直しを進めており、委員会も見直しを行っている。具体的な内容は年明けにお示しする予定であるが、技術委員会は新設であり、組織を立ち上げて先に進めなければならないため、他に先んじてお諮りする。
- ・2025年度は男女のシニア世界選手権、アンダーエイジの世界選手権・アジア選手権もある為、例年より多くの大会が予定されている。また、2026年のシニアのアジア選手権は最初の2028年ロス五輪出場権のかかる大会であり、非常に速いペースでの取組みを求められる。
- ・設立の背景は、以前より現場から「中長期的な強化戦略が無い」「強化は就任した監督任せになっている」という声をもらっていた。その為、中長期的なゴールセッティングに対して達成する為のプランを策定し、それに基づいて代表の人選を行ってスケジュールを組む組織の中核を担う委員会を立ち上げたいと考えている。
- ・目的は、選手の強化・育成やコーチ等も含む養成に関する意思決定の最高機関とすること。目指すは中期計画にも定義されている通り日本代表の五輪でのメダル獲得と日本国民から支持され愛されるチームの育成となる。
- ・権限は、情報収集・分析を元にした一貫性のある中長期的な強化・育成・養成プランの策定と実践。また、日本シニア・ジュニア代表チームの監督含むスタッフの候補者選任を行っていく事になる。ただ、現在は監督候補者選定委員会があるので、その関係性は今後整理していく。
- ・当該委員会も他の委員会同様に委員長の選任は理事会決議となる。メンバー構成は、これまで強化事業の中心的な役割を担ってきた関係者（元代表監督、元アンダーエイジ監督、FIVB/海外NF/JOC/JSC/HPSCの関係者、ハイパフォーマンス関連の強化担当者、他競技の強化担当者等）を入れたいと思っている。
- ・任期は五輪イヤーの国際マッチシーズン終了までと考えている。
- ・2028年ロス五輪に向けて強化体制をいち早くスタートさせる必要がある。
- ・現強化体制は、五輪を1サイクルと考えるとパリ五輪で一旦終了とする。

【決議事項】

- ・提案の通り、技術委員会の方針について承認された。

【補足事項】

- ・今後のスケジュールについて確認が取られた。
- 技術委員会の目的を定めた規程や委員の選任など、1月の理事会に承認をもらえるように、準備を進めていく。
- その他、全体の委員会も含めた組織については1月の理事会に説明を行い、3月の理事会で承認をもらい、4月スタートを目指す。



●HP 本部長代行の解除について

・前回の理事会でハイパフォーマンス本部長候補者について承認いただいたが、派遣元と調整が完了した際には業務執行理事会で候補を解除し、本部長へ着任させる権限を業務執行理事会に移譲することも含め承認をもらっている。現在、ハイパフォーマンス本部長代行がいる関係で、新本部長が着任する際にこの役職を解除する必要があるため、本部長代行の任を解く権限も業務執行理事会に委譲していただきたい。

【決議事項】

・提案の通り、HP 本部長代行の解除について業務執行理事会への委譲が承認された。

<報告事項>

●定款変更案について

定款の変更点については変更一覧を元に説明する。半角→全角等の記載の統一や「てにをは」等の簡易的な修正は説明を割愛させていただく。

<変更点について>

- ・第 10 条 事業報告および決算における報告書類から「付属明細書」を削除する。
- ・第 14 条 評議員の上限人数を「80 名」に変更。
- ・第 15 条 評議員選定に参画する職員代表を「事務局長」と規定。
- ・第 17 条 評議員に対する報酬等の総額を増額する事を検討している（金額未定）。
- ・第 28 条 議事録の確認の証として、これまでの記名押印に「電子署名」を追加。
- ・第 29 条 理事のうち 1 名を「専務理事とする」と変更。
- ・第 32 条 監事の報告先として評議員会への直接報告できる記載を変更。
- ・第 37 条 「責任の免除又は限定」の条文を追加
- ・第 9 章 （第 47 条、第 48 条）名誉顧問、参与の記載を「名誉役員」と変更する。
- ・第 12 章 加盟団体の詳細な記載部分の規程への移行。

変更部分を主に説明したが、細かな部分は資料を確認していただければと思う。現在総務部を中心に規程の整理を進めている。その中で足りない部分はしっかり盛り込んでいこうと考えている。この後 2025 年 1 月の理事会で議題として提案し、2 月 7 日の臨時評議員会の承認を目指す。

●2024 年度上半期予算執行状況

上半期終了時点の計上収益合計は予算上では 12 億 8,597 万円であるが、実績は 14 億 7,241 万円となり予算より 1 億 8,644 万円多い、計上収益の増加となった。主な要因は、グッズの売上・肖像権収益・ファンサイトの収益が上がったという点にある。ただ、グッズの売上はその相対で費用も出ているので注意していただきたい。

- ・上期中間報告（経常収益）



経常収益…予算：12億8,597万円
実績：14億7,241万円
増額：1億8,644万円

また、計上費用合計は予算上では15億6,346万円であるが実績は14億20万円で予算より実績の方が1億6,326万円低く、計上費用の減少となった。主な要因は、期ズレが多くなっている。第三四半期以降の支払いに回っているものがあり、海外派遣費や旅費交通費の精算は今後発生する。

・上期中間報告（経常費用）

経常費用…予算：15億6,346万円
実績：14億20万円
減額：1億6,326万円

実績を予算から差し引くと、3億4,970万円改善している。ただ、期ズレで第三四半期に支払う予定になっているものが2億4,732万円残っている。改善額から期ズレで残っている額を引くと1億238万円となる。これは上期時点で収支が改善されているとみなしている。このまま下期が予算通り推移すると最終的に4億1,672万円の赤字となる。期初の予算では、5億1,910万円の赤字であった。年度最後に特定資産の取崩しをすることで、キャッシュフローの面を見た場合、年度末の3億7,000万円の取崩しを勘案すると4,172万円のマイナスになる。このマイナス分を改善し、特定資産を再積立して正味財産が増やせる様にしたいと考えている。

●1月の予算案説明に向けた増収・支出削減案の反映について

2025年度予算策定に向けて増収・支出削減に向けた職員へのアンケートを実施し、理事の方々へのアンケートも実施した。次にスケジュール上では、各本部から来期の収入予定値を提出してもらい、基本方針と重点実施項目を11月14日に提出してもらった段階となっている。

その後は、12月10日に事業計画案の提出、年内には全体像を提示できればと考えている。また、予算の精査を12月19日の本部長会議で行う予定にしている。ただ、天皇杯・皇后杯があるため、多少の日程変更が発生する可能性がある。しかし、2025年1月24日の理事会では事業方針、重点実施項目、事業計画及び予算案を提示し意見をいただく形としたい。最終的には3月10日の理事会で承認いただくスケジュールで進めていきたい。

●バレーボール男子日本代表監督の選任について

前回の理事会で、ロラン・ティリ氏を男子の監督候補者として承認もらった。その後のプロセスとして権限移譲された業務執行理事会にて候補をとる手順になっていた。交渉は國分専務理事と内藤業務執行理事が進め、合意に至った為11月21日の業務執行理事会にて正式に選任された。

12月2日にティリ氏を含め記者会見を行う予定となっている。

女子の代表監督は、引き続き検討中である。現在、複数の候補者から中長期的なプランを提出してもら



っている。12月中に全ての方のプランを確認して1月の理事会で推薦したいと考えている。

将来的には技術委員会ができれば監督選考もそこが主幹する予定。今後は技術委員会で世界を知っている人物を選考してもらえるようになる。

●その他報告事項

・ビーチバレーボール男女日本代表チーム 監督就任について

スティーブ・アンダーソン氏に依頼する事になった。記載は監督となっているが、実際は男女の統括ディレクターという位置づけになっている。FIVBのエンパワーメント事業の費用を使っている為、給与はFIVBから支給される。2028年のロス五輪までの強化計画を提出してもらっている。パリ五輪の前から計画を立てて国内・海外の各大会とアンダーエイジの大会に帯同して選手・コーチとコミュニケーションをとってもらっている。過去の実績も素晴らしく世界で5本の指に入る人材と考えお願いしている。

・JOC・JSPOの次期理事候補者推薦について

両団体から推薦依頼がきている。現任の方と相談のうえ、業務執行理事会で協議していく。来年の1月中旬までが推薦期日となっているので早急に進める。

以上